Sustainability 推進活動実績 2024

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社
サステナビリティ推進本部

2025.7.02

目次

トップコミットメント・・・3p
2024年度ハイライト・・・・4-5p
データ集・・・・・・・・・19p

Friendly for the earth　地球にやさしく
・・・・・6-9p

Wellness for Everyone
すべての人にウェルネスを・・10-11p

Together with the Community
地域とともに・・12-15p

Growth Through Rewarding Work
仕事を通じ成長を・・16-18p

トップコミットメント

環境だけでなく、経済・社会との共生を目指します

▶経済・環境・社会の共生を目指して

森トラストグループは、「わくわくするような未来の創造」を目指して、不動産事業・ホテル＆リゾート事業・投資事業の3つの柱にとどまらず、様々な事業領域へと舞台を拡大させています。その多くは人々の生活を創り出し、新たな時代のスタンダードを生み出していくものです。当社グループの長い歴史の中で築き上げてきた経験と、新時代創造に対する想いを掛け合わせ、環境への配慮と経済や社会の発展とが両立する社会の実現を目指してまいります。

▶まちづくりから みらいづくりへ

かつて当社グループの創始者、森泰吉郎は「17カ条」の経営理念を語っており、その中で「ビルづくり（単体開発）から街づくり（面的再開発）へ」の変革を掲げています。人々の生活を形作るまちづくりへの変革を経て、当社グループは時代に対応した新しい価値を生み出してきました。

このたび私たちは「まちづくりから みらいづくりへ」をスローガンとして掲げ、経済・環境・社会の共生を目指すフェーズへの変革を推し進めることで、さらに先の世界を創造してまいります。

▶サステナビリティの実現

サステナビリティの推進は、将来社会に起こりうるリスクを軽減することに加え、事業の拡大、ひいては経済の発展にもつながります。

これを念頭に、安心・安全なまちづくり、環境への配慮、ウェルネスやダイバーシティなど、7つのテーマに沿って持続可能な社会を実現させてまいります。そのうちの一部は当社グループ自身をモデルケースとして体現し、社会への実装を推進いたします。

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ株式会社

代表取締役社長

伊達 美和子

〈2024年度ハイライト - 1〉

2024年度、新たにサステナビリティ推進活動基本方針を新たに制定。併せて調達方針と人権方針も制定いたしました。

森トラストグループは、サステナビリティ推進ビジョン「まちづくりから みらいづくりへ」をスローガンに掲げ、環境だけでなく経済・社会との共生を目指しています。森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、この一環として、会社が社会とともに持続的に成長するために、お客様･地域の方々･従業員に信頼される企業を目指し、以下の取り組みを重点活動に設定し実践します。

①Friendly for the earth　地球にやさしく

脱炭素、環境負荷低減、生物多様性の維持など持続可能な自然環境の実現に取り組みます

- 脱炭素社会の実現に向けた取り組み
- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
- 様々な地域への支援活動
- フードロスの低減

②Wellness for Everyone　すべての人にウェルネスを

展開している事業を通じ、すべての人が健康で前向きな生活を送れるような体験の提供に取り組みます

- 健康増進の取り組み
- 心身を整えるアクティビティ・リラクゼーションの促進
- 食を通じたウェルネス
- ワークライフバランスの向上

③Together with the Community　地域とともに

事業を展開しているそれぞれの地域資源の積極的な活用、雇用、パートナーシップを通じ国内外へ地域の魅力を発信し、双方の発展を目指します

- 地域の魅力を発信し、共に栄える地域づくり
- 地域の環境・まちづくりを支援する貢献活動
- 地産地消を意識した料理の提供
- 文化の保全

④Growth Through Rewarding Work　仕事を通じ成長を

働き甲斐があり気持ちよく働くことのできる職場環境を通じ、企業と社員の成長を目指します

- 活力ある組織づくりと人材育成
- 健康経営実現に向けた取り組み
- より柔軟で多様な働き方の推進
- 多様な人材の活躍

調達方針

サステナビリティ推進活動の基本方針を踏まえ、品質管理や公正・公平な取引を徹底し、サステナブルで高品質なサービスを提供いたします。地球環境への負荷軽減や動物福祉への配慮、地域資源の積極的な活用等の役割を果たし、サプライヤーの皆様・地域の方々・従業員に信頼される企業を目指します

人権方針

事業活動を通じて起こり得るステークホルダーの人権に対する負の影響を最小化していくため、人権尊重の取り組みを推進し、もって人権尊重の責務を果たしてまいります。 本方針は、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、森トラストグループの人権の尊重に関する方針を明確にし、社会に対するコミットメントを行うことを目的としています。

〈2024年度ハイライト - 2〉

森トラスト・ホテルズ＆リゾーツ傘下のホテルではSakura Quality An ESG Practiceの認証取得を推進。

Sakura Quality An ESG Practiceとは
宿泊施設向け品質認証「サクラクオリティ」を提供する株式会社サクラクオリティマネジメントが開発した
日本発のESG認証です。認証の基準は、2022年3月に米国の持続可能な国際基準団体 グローバル・サステナブル
ツーリズム協議会（GSTC）から承認を受けました。
同認証はSDGsの17のゴールに基づいた172項目で構成され、チェックシートへの回答や、調査員による現地視察を
経て、5段階のレベルで評価されます。

「ウエスティンホテル仙台」「琵琶湖マリオットホテル」では最高評価のひとつである「4御衣黄ザクラ」を取得
東北地方の宿泊施設として「ウエスティン仙台」が初めて、滋賀県の宿泊施設として「琵琶湖マリオットホテル」で初めて取得。
世界的な潮流となっているSDGs(持続可能な開発目標)に対応した取り組みとして、以下のような取り組みが評価されました。

※森トラストグループの他ホテルにおきましても、2025年度内の認証取得に向けて準備を進めています。

「ウエスティンホテル仙台」

・再生可能エネルギーの導入
・木製や竹製、減プラスチック製品など環境に配慮したアメニティの導入
・地元中学生の職場体験の受け入れ
・地元アーティスト(工芸・アクティビティ含む)とのコラボレーション

「琵琶湖マリオットホテル」

・サステナビリティをテーマとした夏ブッフェを開催しお子さまの食育に貢献
・木製や竹製、減プラスチック製品など環境に配慮したアメニティの導入
・地元中学生の職場体験の受け入れ
・地元企業とコラボした琵琶湖を活用したアクティビティの実施

Friendly for the earth
地球にやさしく

脱炭素、環境負荷低減、生物多様性の維持など持続可能な自然環境の実現に取り組みます

－活動事例－

Friendly for the earth　地球にやさしく - 1

脱炭素、環境負荷低減、生物多様性の維持など持続可能な自然環境の実現に取り組みます

脱炭素社会の実現

個包装ソープやアメニティ包装の廃止、ウォーターサーバー等の導入によるペットボトル使用量の削減や使い捨てプラスチックの、環境配慮素材への転換（紙ストロー、紙カップ等）。過度な清掃の自粛やアメニティ交換の抑制、ゴルフ場におけるガソリン車カートから電気カートへの切り替え、施設内照明のLED化や、従業員エレベーターの使用制限など。

▶CO2排出量の削減

当社で運営している直営事業所の立地する自治体の定めた条例に従い、照明のLED化、冷暖房の設定温度最適化、設備機器の更新等を通じCO2排出量の削減に努めています。
※ラフォーレリゾート修善寺　基準年度より3年間で3%削減のところ8%削減を達成（2023年度実績）

▶エネルギー消費量の低減

空調運用の最適化を通じ毎年1%のエネルギー消費量の低減を目指します。
※2023年度エネルギー消費原単位　0.0542kl/㎡
※複合ビルとして一体管理されている事業所を除く

▶EARTH HOURへの取り組み

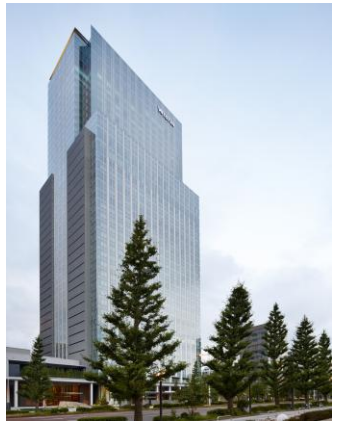
2024年3月23日20:30開催。コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーションでは、ホテルのトップライトの消灯をはじめ、レストランでは灯りを消してキャンドルでお食事を楽しんでもらうなど、ゲストにもご協力いただいて実施いたしました。
シェラトン沖縄サンマリーナリゾートでは、安全及び営業上の支障がない範囲内でホテルの照明を消灯し、アトリウムロビーを暖かなLEDの灯りのみで照らすことで、気候変動に対する意識を高める取り組みを行いました。

※EARTH HOUR（アースアワー）とは
EARTH HOUR は、2007 年に WWF オーストラリアとパートナー企業が、気候変動への関心を高めるためにシドニーで行った消灯イベントをきっかけに始まりました。今では世界最大級のグラスルーツイベントと成長しています。毎年 3 月の最終土曜日に開催される EARTH HOUR は、190 以上の国と地域が参加し、人々と地球のより良い未来のために行動を起こしています

▶再生可能エネルギーの利用

「東京マリオットホテル」、「ウェスティンホテル仙台」、「コートヤード・バイ・マリオット東京ステーション」の 3 ホテルにおいて再生可能エネルギーの導入しております。

Renewable Energy



Friendly for the earth　地球にやさしく - 2

脱炭素、環境負荷低減、生物多様性の維持など持続可能な自然環境の実現に取り組みます

特定プラスチック使用量を
9.3t削減！
（前年比88％減）

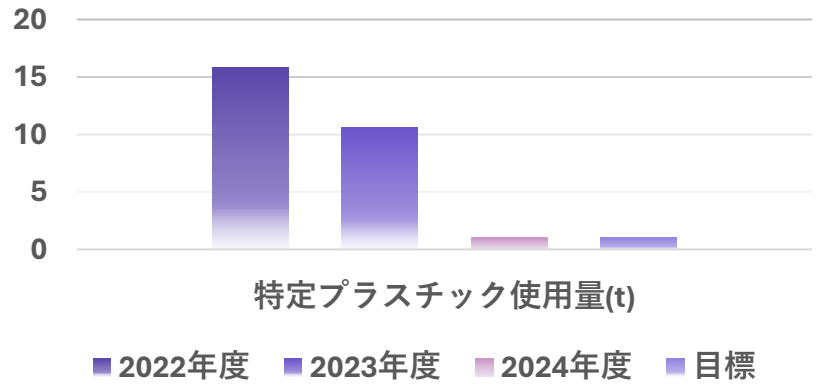
3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

循環型社会の実現を目指し、さまざまな場面で3R（リデュース：ごみの削減、リユース：繰り返し使用する、リサイクル：再度資源として生かす）の活動を行っています。コピー用紙の使用量削減等ペーパーレス活動ごみの分別の徹底コピー用紙、ペットボトル、新聞、段ボール等の使用量削減・再利用客室の余剰・残存アメニティの従業員への再利用廃油の再利用・再資源化（バイオマス燃料等）カプセル式コーヒーの廃棄物再利用など。

▶プラスチック使用量の低減
運営 18 ホテルで2022年時に年間約 16 トン使われているホテルアメニティを見直しすることで、特定プラスチック使用量を約 15 トン削減し1トンとするべく取り組んでいます。

2024年度は下記 の実施によりゲストの皆様とともに豊かな観光資源の保全に取り組みました。より一層サステナブルで地球にやさしいご旅行への一助となりたいと考えています。
・ 木製や竹製、減プラスチック製品など環境に配慮したアメニティを使用。
・ 一部ホテルアメニティの無料設置を廃止し、販売。

上記取り組みにより、**2024年度は全事業所で特定プラスチック使用量が前年の10.6t→1.3tへと88％削減いたしました。**



▶調理廃油の削減
軽井沢マリオットホテルでは年間2千リットル弱でていた廃油を肥料に変える取り組みがスタートいたしました。
※2024年度実績：897kg

▶エコキャップ運動
富士マリオットホテル山中湖はペットボトルのキャンプ回収を行っており、これまで延べ約204,800個/約512kgを、山中湖社会福祉協議会へ提供いたしました。キャップ約860個でポリオワクチン1本分になり、現在約238本分のポリオワクチン相当分を提供しております。

▶客室のミネラルウォーター提供ボトル変更
コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーションでは、客室ミネラルウォーターの提供を、2024年4月より、ペットボトルから缶に変更いたしました。

Friendly for the earth　地球にやさしく - 3

脱炭素、環境負荷低減、生物多様性の維持など持続可能な自然環境の実現に取り組みます

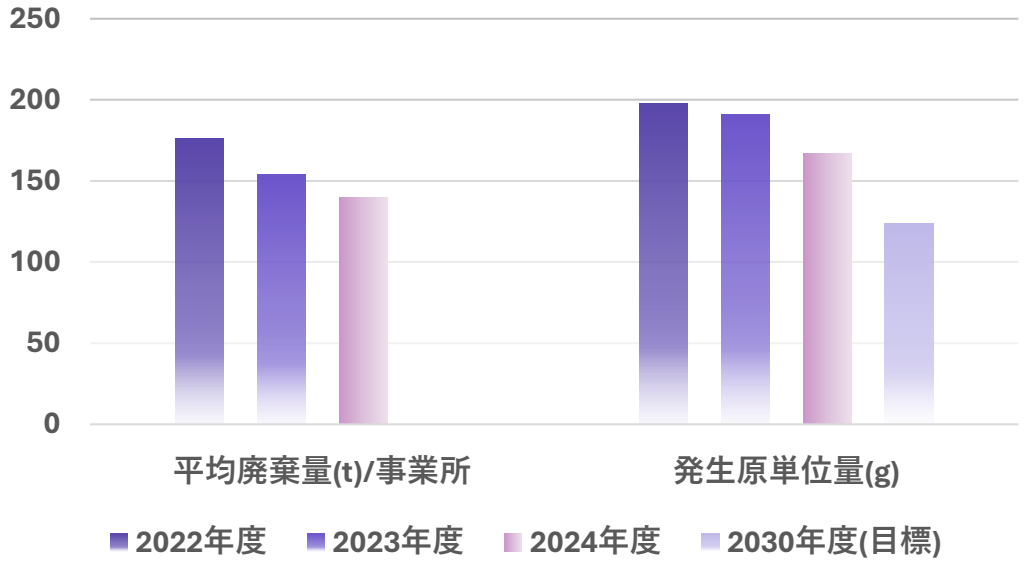
1事業所当たりの
生ごみ廃棄量を
9%削減！

フードロスの低減

フードロス問題に取り組むために、各ホテルでは余った食材をカレーやスープ等に積極的に活用することでロスの削減に努めています。また、コンポストの導入などを通じ生ごみ廃棄量の削減にも取り組んでいます。

▶生ごみ廃棄量の低減

2024年度の事業所全体の生ごみ廃棄量は280トンでした。**1事業所当たりの廃棄量は14トンで前年比9%の削減**となりました。



▶コンポストの導入

シェラトンサンマリーナ沖縄では2023年より沖縄本島で初めてバイオ生ごみ処理機の運用を開始しました。1か月間の生ごみ廃棄量は、2023年11月時点で5,746kgでしたが、2024年7月時点で276kgとなり、前年比95%の削減となりました。

▶破棄されてしまう果実のアップサイクル

南紀白浜マリオットホテルでは、NPO法人 CRUISE ARIDAさんとともに、和歌山県有田市の特産品みかんの生育過程において、摘果され破棄されていた青蜜柑を活用した、アップサイクルなカクテルを販売いたしました。

青蜜柑キャンディースプラッシュ

WAKAYAMAギムレット

WAKAYAMAカイピリーニャ

Wellness for Everyone
すべての人にウェルネスを

展開している事業を通じ、すべての人が健康で前向きな
生活を送れるような体験の提供に取り組みます

－活動事例－

Wellness for Everyone　すべての人にウェルネスを - 1

展開している事業を通じ、すべての人が健康で前向きな生活を送れるような体験の提供に取り組みます

▶ファスティング体験プラン
軽井沢マリオットホテルでは、プロフェッショナルファスティングマイスター監修の、豊かな自然と美しい空気に包まれたリゾートで1泊2日のファスティングが体験できる宿泊プラン「KARUIZAWA RESORT FASTING」を販売いたしました。2024年度は9名のゲストにご参加いただきました。地場の食材をふんだんに使用したホテルシェフメイドのファスティング食をご夕食にお召し上がりいただけます。朝食ではハーブや野菜、果物を発酵熟成させた酵素ドリンク「KALA」をご用意。心身に負担なく、取り組んでいただけるプランです。また、ファスティングの効果やハウツーが視聴できるショートオンライン講座や、わからないことがあればご滞在中いつでもマイスターにご相談いただけるオープンチャットもございますので、初心者でも安心してご体験いただけます。ホテル内のフィットネスルームもご利用いただけるほか、“美肌の湯”とも呼ばれる小瀬温泉の湯あみや、オプションで館内スパのトリートメントもお楽しみいただくことができます。

▶健康増進の取り組み/ウオーキング・サイクリング
全事業所で厚生労働省の推奨する1日8千歩を目安に毎月ウオーキングチャレンジデーを設け、日々の習慣づけを楽しく行っています。
ゲストに向けてはウオーキングを通じ各地域の見どころを回る「ウェルネスツアー」を毎年実施しており2024年は15ツアー、132名の参加がありました。
各ホテルではウェルネスツーリズムとサステナブルツーリズムの一環でe-bike含めたレンタサイクルのサービスも展開しています。

▶食を通じたウェルネス
2024年夏、リゾートマリオットホテル6事業所で「サステナブル」をテーマにしたディナーブッフェを展開。お子様を対象とした「サステナブル・ミッション」企画はおよそ2,500名のお子様にご参加いただきました。
ヴィーガンの方やベジタリアンの方への対応も随時進めており、ウエスティンホテル仙台では、県内産の食材と東北各地の初夏の恵みをふんだんに取り入れ、色彩豊かに仕立てたヴィーガンコース「LOVEBOTANICAL！」を提供いたしました。

Wellness for Everyone　すべての人にウェルネスを - 2

展開している事業を通じ、すべての人が健康で前向きな生活を送れるような体験の提供に取り組みます

▶心身を整えるアクティビティ・リラクゼーションの促進
様々な観点から身体を整えることができ、世界中で人気を集めているピラティス。ウェスティンホテル仙台では地上 110m に位置し、西は蔵王連峰、北は仙台市街地から七ツ森を見渡す開放的な空間「雅」での絶景ピラティスで、当ホテルならではのウェルビーイングをご体験いただけるイベントです。2024年は6/5に開催し14名のゲストにご参加いただき、ピラティスのあとは、シンフォニーにてランチをお召し上がりいただき、身も心も軽くなる体験をお楽しみいただきました。

▶平飼い卵の採用（アニマルウェルフェア）
平飼い卵とは、砂浴びや巣箱での産卵などで鶏が自由に動き回ることができる平飼い鶏舎で飼育している鶏から採れる卵です。ストレスが少なく健康的な鶏から採れるため、味や品質が良く、動物福祉や安全性にも配慮されています。当社の16ホテルでは、一部料理において平飼い卵を採用しております。

▶心のバリアフリー認定
「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」において、当社では28施設が認定をいただきました。

観光施設
心のバリアフリー認定

Together with the Community
地域とともに

事業を展開しているそれぞれの地域資源の積極的な活用、雇用、パートナーシップを通じ国内外へ地域の魅力を発信し、双方の発展を目指します

－活動事例－

Together with the Community　地域とともに - 1

事業を展開しているそれぞれの地域資源の積極的な活用、雇用、パートナーシップを通じ国内外へ地域の魅力を発信し、双方の発展を目指します

地域の魅力を発信し、共に栄える地域づくり

▶地域循環型農業の実現
軽井沢マリオットホテル、コートヤード白馬では近隣の農家と連携し、冬に集めた落ち葉で作ったたい肥で野菜を育て、収穫し、レストランでの朝食やディナーに活用しています。

▶地域行事への積極的参加
シェラトン沖縄サンマリーナリゾートでは、「前兼久ハーリー大会」に今年も参加しました。約20名のメンバーでチームを編成し、4位に入賞しました。今後もこの沖縄の伝統行事を守り続け、地域との交流を一層深めていくことを目指します。

▶地域工芸品の販売
強羅環翠楼では、寄木細工の夫婦箸や箸置き、けん玉、独楽などを売店にて販売。海外ゲストを中心に人気を集めています。

▶地域の祭りへの参加
コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーションでは、6年ぶりの開催となった日本三大祭り「山王祭」に参画しました。神職を先頭に、各町会の神輿と担ぎ手が列を成して中央通りを渡御しました。一つの神輿に200～300人、総参加者は約3,000人。観光客も多数訪れ大盛り上がりでした。
東京マリオットホテルでは、市長間神社例大祭に参加し、ホテルの料理やおつまみを振る舞いました。今後も地域を盛り上げる活動に積極的に参与し、地域応援に尽力していきます。

▶地域産品の発信
東京・神谷町にて地方産業の発信・育成を支援する「CoCo JAPAN」を運営しています。2024年度は常設展4回、企画展25回、イベント8回開催し、各地域の産品を紹介いたしました。

COCO JAPAN

Together with the Community　地域とともに - 2

事業を展開しているそれぞれの地域資源の積極的な活用。雇用、パートナーシップを通じ国内外へ地域の魅力を発信し、双方の発展を目指します

地域の環境・まちづくりを支援する貢献活動
地域の一員として共に発展したいという想いを胸に、様々な貢献活動を行っています。

▶道普請
2004年7月に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された「熊野古道」は、石畳や階段の部分もありますが、多くは土の道です。また紀伊山地は、年間を通じて雨量が多く、台風の被害にも度々見舞われる地域であるため道の傷みも確認されており、世界遺産の道を後世に良好なまま保全するために、道普請活動を続けております。今年は南紀白浜マリオットホテルや琵琶湖マリオットホテルなど西エリアのスタッフが参加しました。

▶ROAD TO GIVE
シェラトン沖縄サンマリーナリゾートでは、マリオットインターナショナルのテイクケア活動、そして世界に貢献する活動の一環として実施しているチャリティーイベントRoad to Giveを2024年11月に実施いたしました。リッツカールトン沖縄をはじめとした県内のマリオットグループホテルと共同で従業員とそのご家族がランナーとして参加。ランニングやラッキードローを行い、従業員同士の交流を深めることができました。集まった寄付金は、寄付が集まりにくい小さな離島の高齢者や障がい者、来春児童養護施設などから巣立つ子どもたち、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響で生活に困窮する人々を支援するＮＰＯなどへの助成金として活用されます。

▶地域農作物の活用・PR
コートヤード・バイ・マリオット 白馬では、白馬村の名産品の一つでもある「ほおずき」を地元農家協力のもと、お客様が収穫体験、ほおずきを使ったジャムづくり、ジャムを使ったシェフ直伝のアレンジレシピの講習を行い、皆様笑顔で帰られました。

Together with the Community　地域とともに - 3

事業を展開しているそれぞれの地域資源の積極的な活用。雇用、パートナーシップを通じ国内外へ地域の魅力を発信し、双方の発展を目指します

エリア内でのクリーン活動
それぞれの事業所の近隣での清掃活動を地域事業者とも連携しながら行っています。

▶東京マリオットホテル
毎月第二水曜日に実施。ラジオ体操を行ってから活動を開始し、毎回約8,000歩以上歩きながら、品川駅方面や五反田駅方面のゴミ拾いを行っています。

▶シェラトンサンマリーナ沖縄
恩納村主催のサンゴを救う取り組み「Save The Coralプロジェクト」に参加。3月5日（サンゴの日）清掃活動に、サンマリーナをはじめ、近隣の企業など数百人が海岸清掃活動に参加し、今年は別途サンゴの保全に関する座学も行われました。座学を通じて赤土の流出によるサンゴの光合成の阻害や他の生態に与える影響、私たちができる保全対策について学ぶことができました。この学びを生かし、今後も「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指す恩納村の活動に積極的に貢献していきます。

▶コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション
近隣の3ホテルと共同で毎月1回新大阪駅周辺の清掃活動を行っています。

▶イラフSUIラグジュアリーコレクションホテル沖縄宮古
毎週木曜日のビーチクリーンを継続して実施しています。8月には1人では持てないほど大きな綱とパレットを改修しました。今後は軽石の除去にも力を入れていきます。

文化の保全

2024年度は日本のクラシックホテルの草分けである万平ホテルがグランドオープン、国選定重要伝統的建物群保護地区の伝統的建造物である旧マリア園を改修しホテルとして再生するインディゴ長崎グラバーストリートが開業しました。建物のみならず、そこで生きながらえていた文化も継承し訪れるゲストや後世に伝えていきます。

Growth Through Rewarding Work
仕事を通じ成長を

働き甲斐があり気持ちよく働くことのできる職場環境を通じ、企業と社員の成長を目指します

－活動事例－

Growth Through Rewarding Work　仕事を通じ成長を - 1

働き甲斐があり気持ちよく働くことのできる職場環境を通じ、企業と社員の成長を目指します

活力ある組織づくりと人材育成

様々なノウハウや知識を継承し、活力ある組織を形作る様々な教育を行っています。また多様性や機会均等などの教育により、誰もが活躍できる組織づくりを目指してまいります。

▶全社プレゼンテーションの開催

これまでの実務経験と研修にて受講した内容から、ゲストや社内に求められる戦略、施策を見定め、アクションの計画、施行を繰り返して考察し、検証した結果を踏まえて、「全社プレゼンテーション大会」を開催しました。最優秀賞は「コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション」と「富士マリオットホテル山中湖」が受賞しました。

▶多彩な人財育成プログラム

「自ら企画し動ける人材」の育成をテーマに100以上の教育プログラムを提供しています。ホテルの現場でのスペシャリストを目指す方や総合的にホテルを統括するマネージャー職の養成、DX人材の育成など時代の要請にも応えられるプログラムを順次開発、実装しています。

▶2023年度に引き続き、立教大学観光学部秋期授業「ホテル運営論」に参画

当社は、不動産開発、オペレーション、人財開発など、世界水準のホテル開発・運営において幅広い分野で活躍するプロフェッショナルが在籍しております。この授業全体を通して各分野で活躍する当社グループ社員が講師として登壇することで、ホテルの開発、開業、運営に至るまでを各社員の視点から講義し、新しいホテルの価値をつくり地域活性化に貢 献するという、観光産業で働くことの魅力を学生に発信いたしました。

■立教大学観光学部「ホテル運営論」授業概要
観光教育の企画・運営を担う池尾健氏が、ホテルや観光、地域といった文脈で「多様性」を体現する企業からゲスト講師を招き、ホテル運営の基本だけでなく、「ホテルに関わり働くこと」の多面性を理解することを目的として実施している授業です。
今回当社は「不動産開発」「新規ホテル開業」「人的資本」「オペレーション」をテーマとして、合計６回のオンライン講義を実施いたします。世界水準のホテルを開発・運営する当社グループ社員による講義とパネルディスカッション、学生たちによるグループワークを行い、未来の観光産業の担い手となりうる学部生たちに、観光産業で働くことの魅力を発信いたしました。

Growth Through Rewarding Work　仕事を通じ成長を - 2

男性育休取得率
3%up！

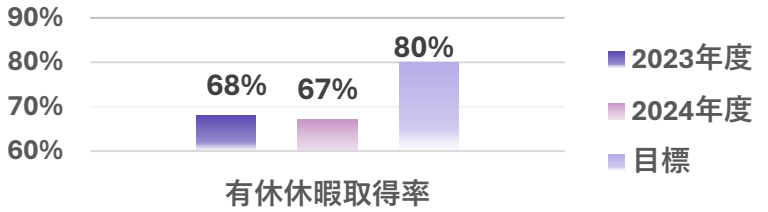
働き甲斐があり気持ちよく働くことのできる職場環境を通じ、企業と社員の成長を目指します

健康経営実現に向けた取り組み

従業員が持続的に事業を継続できる職場環境の実現を推進しています。

▶有休休暇取得率の向上

2024年度の実績は67%と前年度より1ﾎﾟｲﾝﾄ減少しまいました。リフレッシュ休暇制度や子供行事休暇、アニバーサリー休暇など地域や現場の実情に合わせた制度導入により、誰もが有給休暇を取得しやすい仕組みづくりを進めます。

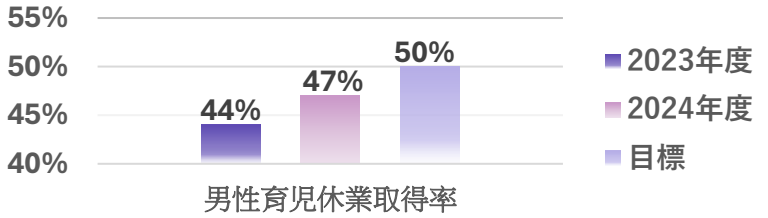


より柔軟で多様な働き方の推進

誰もが働きがいのある職場を目指し、従業員と家族の生活を支援しています。

▶育児休暇取得率、男性育児休暇取得率

育児休業取得率は100%。男性育児休業取得率は47%と前年度より3%改善。
引き続き取得しやすい職場環境を目指します。

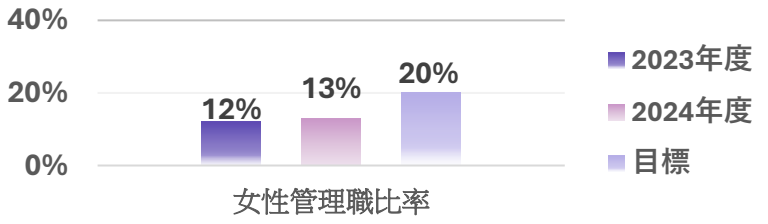


多様な人材の活躍

各事業において、人材採用に多様性を取り入れ、様々な場面で活躍できる環境構築を推進しています。

▶女性管理職比率、外国人比率

女性管理職比率は前年比1point上昇の13%。外国人採用比率は7.5%とインバウンドの増加に対応すべく外国人の採用を進めています。



データ集

大項目	中項目	2023年度実績	**2024年度実績**	数値目標	達成年度
環境	CO2排出量 削減率	8%	**集計中(7月)**	各自治体より定められた削減義務率(基準年度より3年間で3%削減）を上回る削減率	2031年3月
	生ごみ発生原単位	193g	**167g**	124g	
	特定プラスチック使用量	10.6 t	**1.3 t**	1 t	
ダイバーシティ	女性管理職比率	12%	**13%**	20%	
	外国人雇用比率	9.1%	**7.5%**	10%	
働きやすさ・健康	育児休業取得率	100%	**100%**	100%	2031年3月
	男性育児休業取得率	44%	**47%**	50%	
	有給休暇取得率	68%	**67%**	80%	
教育	教育プログラム数	100	**116**	なし	ー
	受講人数	865名	**2,061名**	なし	ー